

・ 営業外費用 上記③ + ④ + ⑤ = 3,109

・ 特別損失 上記⑥ = 36,240

貸借対照表上の貸倒引当金

・ 流動資産：上記※（１）①～③の合計 = 7,487

・ 固定資産：上記※（１）④～⑥の合計 = 39,241

解説の計算は、読みやすさを優先したが、実践では破産更生債権等→貸倒懸念債権→一般債権の順で貸倒引当金を計算すると混乱が軽減する。

（２）賞与引当金は計上済み

（３）退職給付引当金の計上

（借） 退職給付費用	41,422	（貸） 退職給付引当金	41,422
------------	--------	-------------	--------

① 勤務費用 35,180

② 利息費用 $321,000 \times 3\% = 9,630$

③ 期待運用収益 $83,000 \times 4\% = 3,320$

④ 数理計算上の差異

年金資産の見積額 $83,000 + 3,320 = 86,320$

年金資産の実際額 87,000

数理計算上の差異 $87,000 - 86,320 = 680$ （有利差異）

⑤ 数理計算上の差異の当期費用の減額処理 $680 \div 10 \text{年} = 68$

⑥ 当期退職給付費用 $35,180 + 9,630 - 3,320 - 68 = 41,422$

問 10 税金に関する事項

（１）法人税等

（借） 法人税等	182,300	（貸） 仮払金	89,600
		未払法人税等	92,700

法人税等の損益計算書の表示科目は「法人税、住民税及び事業税」と省略しないで記載する。